

視察（研修）報告書

平成28年7月23日

府中市議会議長 様

会派名又は 公明党
議員名 大本 千香子
加島 広宣

日 時	平成28年7月19日(金)～7月20日(水)
視察（研修）先	大阪府寝屋川市 兵庫県小野市
視察（研修）項目	①寝屋川市(新ごみ処理施設整備計画) ②小野市(行政経営：現状打破と新たな挑戦)
参加者	大本千香子・加島広宣
視察（研修）内容	①ごみ処理施設整備計画について(寝屋川市) 総事業費 139億円、焼却(ストーカ方式)、 計画は地上6階地下1階、用地の状況により制約 規模200トン/日、市の自主基準(国より厳しい各排ガス基準) 廃熱による発電と売電の計画(1.5億の収入見込み)、国の高率補助金 計画を白紙から審議会で検討、アンケート・パブリックコメントなど 市民意見の把握、公設公営、一般競争入札で2社 31年完成を目指し現在工事中 ② 行政経営(小野市) 基本理念 ・理念なくして意識改革なし、意識改革なくして行動なし ・行政も経営 より高度で高品質なサービスをいかに低コストで提供するか ・ゼロベースの発想でチャレンジ 行政経営戦略-4つの柱 ・顧客満足度 ・成果主義 ・オンリーワン ・先手管理 行動指針(3C・3S 成果の追及) ・顧客満足度の徹底

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 参画と協同の推進 ・ 挑戦
所	感	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ処理施設の建設への手順が丁寧であることに驚く。 ・ 市民意見の集約をタイムリーに取られているころ。 ・ 30自治会のうち10自治会が、説明会はいらないとの結果。 ・ 広域化は、住民感情や災害時の応援体制などから複数の処理施設のほうが安全との結果で考慮なし ・ 市街地に近い場所での運転。市民説明を丁寧にされていると感じた。 ・ 府中市の計画は大枠ができてから議会に説明があり、寝屋川市とは異なる部分大きい。 ・ ストーカ炉の選択、応札業者は日立造船、日立はごみ焼却設備について建築経験多く有とのこと。 ・ 市の計画についてはさらに精査し、コストダウンを考えるべき。 ・ 広域化については議論必要 ・ 小野市行政経営では、民間発想で成果主義、報告・連絡・相談の徹底 ・ 市長の強力なリーダーシップのもと職員のやる気も大きく向上している。 ・ 個人評価が報酬に反映されている。 ・ 先手管理で、病院を周辺3市で新しく建設。高度な医療センターとして生かされている。 ・ 方針管理制度による最先端までの意識統一がされている。 ・ 府中市での職員意識改革の大きな参考になる。